

令和 5年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

広中央中学校区 校番4 学校名 呉市立広中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	・わかりやすく、基本的に大事なことばかりでよかった。 ・タブレット使用が定着していることにより授業がスムーズにしている様子が伺えた。
目標達成のための方策の適切さ	B	・授業スタイル「めあて」「まとめ」「振り返り」を通して生徒にとっては自己の学びを実感できる。家庭学習の習慣化は難しい課題だと思うが、生徒の小さな成功体験や達成感を評価できることを期待する。
自己評価の結果の分析の適切さ	B	・自分を肯定的に評価をするのは良いことで、生徒間で良いところを評価しあうのも必要かと思う。
今後の改善策(案)の適切さ	B	・家庭学習について生徒自らが「将来に向けた意義」を考えられるよう保護者・教職員が心を一つにして指導してほしい。
その他		・学力テストが全国平均・県平均より低い数値が続いている。とりわけ数学は全国平均より10ポイント下回っている。生徒自身がどこでつまづいているかを把握できるようフィードバックして修正していくことが大事である。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>・確かな学力を育成するために、学習規律マニュアルの徹底を行う中で、落ち着いて授業を受けられるように取り組む。</p> <p>・自尊感情・自己肯定感を育成する取組として、生徒の良いところを認め、肯定的な評価を行う。</p>
--------------------	---